

PRESS RELEASE

メタジェンセラピューティクスと国立がん研究センター中央病院が がん患者の腸内細菌叢に関する共同研究を開始 ～免疫チェックポイント阻害薬治療を受ける消化器がん患者の腸内細菌叢を解析～

メタジェンセラピューティクス株式会社（所在地：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO：中原拓）は、国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、東京都中央区）中央病院（病院長：島田和明）と、「免疫チェックポイント阻害薬治療を受ける消化器がん患者の腸内細菌叢解析」の共同研究を開始します。

消化器がんの治療においては、免疫チェックポイント阻害薬により治療の選択肢が広がっている一方で、治療効果が得られない患者の治療に対しての新たな戦略が必要とされています。近年の研究^{*1}では、免疫チェックポイント阻害薬による治療効果が得られない患者に対して、腸内細菌叢を調節することで治療の奏効割合が改善される可能性が示唆されています。

本共同研究は、食道がん、胃がん、大腸がんなどを対象に、免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けるがん患者の腸内細菌叢を解析し、今後の治療の進展に寄与することを目的としています。研究の成果により、消化器がん患者に対する免疫チェックポイント阻害薬の奏効割合の向上が可能となる新たな治療の選択肢を提供できるよう、検討してまいります。

メタジェンセラピューティクス 代表取締役社長 CEO の中原拓は、「がん治療にパラダイムシフトを起こした免疫チェックポイント阻害薬をさらに有効な治療にするために、弊社の腸内細菌叢に関する知識、腸内細菌叢バンクの構築を通じた、腸内細菌叢移植（FMT：Fecal Microbiota Transplantation）の支援サービスや、FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬プラットフォームを最大限に活用し、がんに苦しむ患者さんやそのご家族の皆様へ新たな治療の選択肢を届けられるよう、尽力してまいります」と述べています。

研究概要

<目的>

免疫チェックポイント阻害薬治療を受けるがん患者の腸内細菌叢を解析による、新たな治療選択肢の開発

<対象>

免疫チェックポイント阻害剤を含む全身化学治療を受けている、あるいは今後受ける予定の消化管がん（食道がん、胃がん、大腸がんなど）の患者（予定症例数 200 例）

<方法>

対象患者の便サンプルを用いて、腸内細菌叢の多様性を分析し、免疫チェックポイント阻害薬の感受性および自然耐性・獲得耐性に関与する因子を評価する

<実施体制>

・研究者

国立がん研究センター中央病院 消化管内科

加藤健（研究責任者）、庄司広和（研究事務局）、沖田南都子、善浪佑理

・共同研究機関

メタジェンセラピューティクス株式会社

用語解説

腸内細菌叢移植（FMT）：

腸内細菌叢移植（FMT）は、健康な人の便に含まれている腸内細菌叢を、疾患を持つ患者さんの腸に内視鏡により注入し、バランスのとれた腸内細菌叢を構築する医療技術です。2023年1月より、潰瘍性大腸炎を対象とした「抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法」が先進医療Bとして開始されました。メタジェンセラピューティクスは同先進医療の共同研究機関として、便ドナーのリクルーティング、便検体の管理、腸内細菌叢溶液の調製、品質管理などに係る支援業務を提供します。

<参考リリース>

潰瘍性大腸炎を対象とした「抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法」が先進医療Bとして承認、2023年1月より実施

https://www.metagentx.com/news/230104_senshinb/

FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬：

腸内細菌叢移植療法（FMT）であらかじめ安全性・有効性が確認できた腸内細菌叢を用いて行う創薬を意味します。通常の創薬では、基礎研究の成果を基に医薬品としての実用化を目指す「トランスレーショナルリサーチ」による創薬が行われますが、FMT 起点の創薬は、臨床上で明らかになったメカニズムを基に研究を行い医薬品の実用化を目指す「リバーストランスレーショナルリサーチ」による創薬です。FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬では、通常のリバーストランスレーショナルリサーチより、さらに安全性・有効性の確率性の高い開発を進めることができます。メタジェンセラピューティクスは、FMT 起点のリバーストランスレーショナル創薬実現のため、日本初の創薬研究を目的とした腸内細菌叢バンクの構築を進めています。

メタジェンセラピューティクス株式会社について

メタジェンセラピューティクス株式会社は「マイクロバイームサイエンスで患者の願いを叶え続ける」ことをミッションとして、腸内マイクロバイーム研究に基づいた医療と創薬でソーシャルインパクトを生み出す大学発ベンチャーです。現在メタジェンセラピューティクスでは人材採用を積極的に進めております。募集中のポジションは <https://www.metagentx.com/recruit/> をご覧ください。募集中のポジションに当てはまるものがなくとも、マイクロバイームサイエンスでイノベーションを起こす仲間に入りたい方は hr@metagentx.com までご連絡ください。

<会社概要>

会社名：メタジェンセラピューティクス株式会社（略称 MGTx）

本社所在地：山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2

東京事務所：東京都港区虎ノ門 1 丁目 17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15 階

代表者：代表取締役社長 CEO 中原拓

設立日：2020 年 1 月 17 日

事業内容：マイクロバイオームサイエンスを活用した創薬・医療事業

URL：<https://www.metagentx.com>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

メタジェンセラピューティクス株式会社 広報担当

Email: pr@metagentx.com

Mobile: 080-9664-9536（大澤） / 080-3343-2664（岩谷）

出典：

1. Davar D, Dzutsev AK, McCulloch JA, et al. Fecal microbiota transplant overcomes resistance to anti-PD-1 therapy in melanoma patients. Science. February 4, 2021. DOI: 10.1126/science.abf3363

Christopher H Woelk 1, Alexandra Snyder, Modulating gut microbiota to treat cancer. Science. 2021 February 5, 2021.

DOI: 10.1126/science.abg2904.